

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)

【公開番号】特開 2019-48648 (P2019-48648A)

【公開日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-012

【出願番号】特願 2017-172783 (P2017-172783)

【国際特許分類】

B 6 5 D 75/60 (2006.01)

B 6 5 D 33/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 75/60

B 6 5 D 33/00 C

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 22 日 (2020.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 3】

(実施例)

素材としての合成樹脂フィルムは、以下の構成とした。基材フィルムとしてユニチカ社製ナイロンフィルム「エンブレム」(登録商標)(厚さ 15 μ m)を使用し、最内層シーラントフィルムに大和製罐株式会社製 1 軸延伸 PET フィルム「大和ベルファイン」(登録商標)(厚さ 12 μ m)を使用し、これらのフィルムをウレタン系接着剤を用いてドライミネートにより貼り合わせた。なお、大和ベルファインは MD 方向に 1 軸延伸されたフィルムである。この多層フィルムを、PET フィルムが内側となるように二つ折りし、MD 方向が縦になるように縦 55 mm、横 45 mm の矩形状に重ね合わせた。前述した図 2 の (d) に示すように、左辺部 5 と上辺部 4 とを熱溶着(ヒートシール)し、併せて上辺部 4 側の内寸の中央に開封誘導溶着部(易開封部)7 と流出路 8 とを形成した。なお、シール部 2 の幅 W は 10 mm とし、開封誘導溶着部 7 の形状は三角形とした。さらに、流出路 8 の長さは 10 mm、開口幅 W₈ は 4 mm とし、これは、上辺部 4 側でのシール部 2 の内寸 L₄ の長さが 35 mm であるからシール部 2 の内寸 L₄ の長さの約 11% である。さらに、開封誘導溶着部 7 の突出長さ L は、小袋 1 の内側に向けて 5 mm とし、したがってシール部 2 の幅 W の半分とした。

このようにして作成した小袋 1 に、内容物として約 5 g の水道水を入れ、中に空気が入らないようにして下辺部 6 を幅 10 mm でヒートシールし、満注型液体小袋を作成した。